

創エネ神戸 淡路島ソーラーファーム 見学会 2017年5月24日

5月24日、横山先生にアレンジして頂き、洲本市五色町の「淡路島ソーラーファーム」のソーラシェアリングの施設の見学会に、今橋、香川、岡本の3人が参加しました。

この発電所は発電出力24kW ソーラーパネルは90Wx264枚 パワーコンディショナーは4台です。

このソーラーパネルの遮光率は32%で、下の畑では玉ねぎが栽培されていました。

この見学会には、淡路、明石、西脇からも参加されていました。 総員20人。



- ・オーナーの岡本様に説明していただきました。 ・施設面積：460㎡
- ・毎時の出力：24kw ・太陽光パネル：縦40cm、横130cmのパネル264枚を設置
- ・高さ：3.5m（アルミパイプの支柱） ・基礎：地下にアルミパイプ80cm、その下にスクリュー杭1.8cm
- ・建設費：900万円
- ・施工業者 株式会社スマイルあわじ（兵庫県洲本市）
技術協力：ソーラーカルチャー株式会社（茨城県つくば市）
- ・売電収入：83万円/年の予定だったが、123万円/年と1.5倍の収入。
- ・建設コストは、7～9年で回収の予定
- ・2014年10月に許可を取得。2015年1月に着工し、2月上旬に稼働。
- ・ソーラシェアリングの施設は、農地に構造物を建設するとされ一時的転用を市の農業委員会に申請要。
パイプが埋められている箇所0.015㎡。作物の収穫量は周囲の80%以上でなければならない。実績報告要。
3年間適用 その後再度手続きが必要。 今度は栽培作物は 米として申請する予定。
申請手続きは自身で行われたそうです。
- ・栽培作物は玉ねぎ（ネオアース、もみじ3号、ターザン）で、「ソラ玉ちゃん」と呼んでいる。
テスト的に、サニーレタス、ほうれんそう、キャベツも栽培している。 光飽和点を考慮する必要あり。
- ・2年たつが、施設の問題なし。



ソーラーパネルの角度調整が可能で、季節によってパネルの角度を一斉に変えることができる。

夏場は地面とほぼ水平に、冬場は60度ぐらいまでパネルを立てる。

室内にある発電量モニターを見ながら、発電量が最大になるよう調整もしている。風が強い時は水平にする。

また作物の生育状況を見て、角度の調整を5日/年ほど行った。

晴れ向きの目安

1月	56
2月	48
3月	34
4月	19
5月	10
6月	10
7月	10
8月	12
9月	26
10月	42
11月	53
12月	59



パワコンディショナー 4台

今後2号機を設置する計画

規模は50kWで、既に申請していて許可される予定。

神戸新聞に掲載されたことあり。NHKで放送されたことあり。淡路地域ビジョン委員会で紹介した。

横山先生のリードにより、見学会と一緒に参加した明石（市民共同発電検討会）、淡路（地域ビジョン委員会）、西脇（エコネットにしわき）の環境関連団体の皆さん（市議、市職員の方も）と、交流会が行われました。

各団体より活動内容の紹介が行われました。「創エネ神戸」も資料「NPO 法人創エネ神戸 2017年4月」を配布して、説明をしました。

その中で、地域内に地産地消型の電力会社を設立し、地域住民にその利益を還元する仕組み作りの話もありました。

また、ソーラーシェアリングは、農業をしながら売電収入が得られるので、農業人口の確保につながり、地域創生になるのではないかとの意見がありました。

（作成 岡本紘一）